

社協だより



令和3年11月号 No.331

6月号で社協が基本目標にしている、4つの「わ」について掲載いたしました。8月号で1つ目の「話」について掲載しましたが、今月号は2つ目の「輪」について説明いたします。

みんなが集える「輪」による地域づくり

地域における担い手が不足している中で、「まちを住みよくするため、できることは参加したい」というボランティアの気持ちを応援し、地域活動に参加してもらうために様々な講座や研修を実施します。また、認知症の方が住み慣れた地域で暮らし続けられる「地域づくり」に取り組みます。

別府市社協が担うこと

地域における人材発掘・育成を進めるために、「少しなら何かしたい」と思っている方やボランティアに興味がある若い方に参加してもらえるような呼びかけを行っていきます。また、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かい目で見守ることができる「福祉のまちづくり」に努めます。



ボランティア活動をしてみたいけれど、どうすれば始められるかなあ？

社協でボランティア登録をすることで、その人に合ったボランティアをご紹介します。また、ボランティアに興味がある方に対し、様々な養成講座を行っています。できる範囲でボランティア活動を行ってください。(現在はコロナ禍の為、ボランティアの依頼が少ない状況です)



認知症と診断されたら家で暮らせないの？

認知症に対する正しい知識と理解を広めるため、講座等を実施し、認知症の方が住み慣れた地域で暮らし続けられる「地域づくり」に取り組んでいます。



「第34回別府市福祉まつり・第46回市民と消防のつどい」の開催中止のお知らせ

毎年、11月の第2日曜日に開催し、多くの市民や団体の皆さまのご参加とご来場をいただいております「別府市福祉まつり・市民と消防のつどい」は、新型コロナウイルス感染症の影響により見通しが立たない状況であるため、昨年に引き続き本年（11月14日開催予定）も開催を中止させていただくことになりました。

市民誰もが参加し「つながり」「かかわりあい」を築く交流の場として、さらに防火防災意識の啓発を図るために世代を超えて体験と交流のイベントとして開催しており、本年は何とか感染防止対策を行い実施できないか試行錯誤しました。

しかしながら、ふれあいと交流を目的とする本イベントの開催は非常に難しいと判断し、また参加される方々の安全を一番に考慮した上での、苦渋の決断となりました。

本イベントを楽しみにされていた、多くの参加団体や市民の皆様には心からお詫び申し上げますとともに、ご理解をお願い申し上げます。

歳末たすけあい募金の助成事業を募集します!

【対象団体】別府市内で活動する福祉団体、ボランティアグループ・団体、NPO法人等

【対象事業】令和3年12月1日から令和4年2月28日の期間に実施する高齢者や障がい者等との交流支援・地域福祉事業

【金額】1団体につき、上限5万円

【申込締切日】令和3年12月10日

※詳しくは別府市社協のホームページ内助成・配分金情報をご覧ください。



ふるサポ募金にご協力をお願いします!

今年も昨年同様、新型コロナ禍の状況下、募金活動を実施しておりますが、街頭募金運動を始め、募金活動は縮小せざるをえない状況です。

共同募金はインターネットから、自分のふるさとや希望する地域に募金ができる「ふるサポ募金」があります。ご協力よろしくお願いたします。

<https://www.akaihane.or.jp/furusapo/>



共同募金会 令和3年大雨災害義援金受付しております!

一隅を照らす人になる さあ、市民後見人になろう

第3回市民後見人養成講座 参加者募集

本講座で成年後見制度を学び、私たち市民の手で困っている隣の人を支える地域社会を創っていきませんか。

（なお、今年度は今後の新型コロナウイルス感染状況が不透明なため主にオンライン方式で実施し、受講しやすい構成となっています。）



オンライン講座：令和3年12月～令和4年3月 全8回

（オンラインによる録画配信のため、受講者のご都合に合わせて受講できます）

集合講座：令和3年12月11日・令和4年3月5日 全2回

【対象者】・原則として、別府市在住20歳以上の方
・市民後見人として活動する意欲のある方で、当該講座のすべてに参加することができる方
・動画を視聴できるインターネット環境等を用意できる方 など

【定員】20名程度

【受講料】無料

【申込受付期間】11月1日（月）～12月8日（水）

【申込方法】申込用紙に必要事項を記入し、別府市社会福祉協議会へ郵送または持参してください。
（ホームページから申込も可）

【募集要領・申込用紙設置場所】別府市社会福祉協議会、あすなる館、別府市高齢者福祉課・障害福祉課、各出張所
なお別府市社会福祉協議会のホームページからもダウンロードすることができます。

【申込用紙提出先・問合せ先】別府市社会福祉協議会

上記お問い合わせは☎26-6070 別府市社会福祉協議会まで

ご寄付ありがとうございました (9月1日から9月30日まで)



▼香典返し (敬称略)

～謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます～

- ・3万円 (亡夫 宏一) 桜ヶ丘……………大津 和子
- ・10万円 (亡夫 國義) 元町……………小松 千鶴
- ・金一封 (亡夫 博之) 小坂……………田中 敦子
- ・3万円 (亡妻 玲子) 青山町……………牧野 晃
- ・3万円 (亡母 ツヤ子) 石垣西……………松川 好美
- ・3万円 (亡夫 正則) 石垣西8丁目
……………土谷サツ子
- ・3万円 (亡妻 弘子) 上野口町……………森 秀吉
- ・2万円 (亡母 揚子) 末広町……………渡辺 靖規
- ・2万円 (亡夫 孝巳) 末広町……………戸倉三貴子

▼一般寄付 (敬称略)

- ・3万円 (地域福祉のために)
…有限会社 日新眼鏡光学商会 社長 上原 利一
- ・5千円 (車いす借用のお礼として地域福祉の為に)
……………小林 真弓
- ・5千円 (車いす借用のお礼として地域福祉の為に)
……………匿名

▼フードドライブ (敬称略)

5名の方からご協力をいただきました。

新連載



端で後見、地域に貢献
こうけん相談室 vol.1



令和2年12月から、別府市の委託を受け、別府市成年後見支援センターを開設してもうすぐ1年が経ちます。

「権利擁護」や「成年後見制度」を、地域の方々にもっと身近に感じてもらうたく、この連載をスタートしました。

「こうけん相談室」では、各制度の内容のほか、センターに多く寄せられるご相談の一例を取り上げ、紹介していきます。

そもそも、「権利擁護」って、なーに？

権利擁護とは、「権利を護る(まもる)」こと。私たちは、自分らしく生活を送るために、様々な場面で自己決定を行ない、自分自身の権利を護っています。

しかし、認知症や知的障がい等で、判断能力に不安がある方は、悪質商法や虐待等の被害にあったり、財産管理や医療福祉サービスの適切な利用が困難になったりするなど、地域で普通に生活できる権利が侵害される場面に遭遇します。

センターではそうした方々の権利擁護支援(権利侵害の回復支援・意思決定支援)を行なっています。

一人で悩まず、お気軽にご相談くださいね！



【問合先】0977-73-6070 別府市成年後見支援センター

正規職員募集のお知らせ

別府市社会福祉協議会では、正規職員を募集しています。

募集内容	正規職員(総合職) 1名
応募要件	年齢 昭和57年4月2日以降に生まれた人
	資格 社会福祉士・精神保健福祉士・保健師・看護師・介護支援専門員・相談支援専門員・社会福祉主事任用資格のいずれかの資格を有する人で普通自動車免許を有する人
募集期限	令和3年11月10日(水)
選考方法	一次試験：11月21日(日) 小論文・個別面接
	二次試験：12月中旬予定 個別面接
採用予定日	採用決定者と相談の上で決定

※詳しくは別府市社会福祉協議会ホームページの募集要項をご覧ください。

【問合先】総務・市民活動係

認知症の症状別対応のヒント

意欲が低下している

認知症の方は、気力が落ちているように見られることがあります。たとえば、楽しみにしていた趣味をやめてしまったり身の回りのことに無関心になったりします。



対応のヒント



自信をなくしていたり体調に不安を感じていたり、原因は様々でしょう。まずはご本人の気持ちを受け止め、笑顔になれることを増やしましょう。例えば…

- ・好きな音楽を聴く。
- ・懐かしいテレビ番組や写真をみて会話を増やす。
- ・役割をもつ(洗濯物を畳んだり配膳をしたりする)。
- ・自宅周辺を散歩をして、ご近所の方と関わりを持つ。
- ・お化粧やおしゃれをする。

など、無理せず少しずつ活動量を増やしていきましょう。ご本人が安心して人と関われる環境が大切です。

上記お問い合わせは☎26-6070 別府市社会福祉協議会まで

地域に活気! 活動に元気!
～地区社協活動紹介～

春木いきいきサロン(春木川地区)

春木公民館で毎月第3水曜日の午後、実施しています。コロナ禍で、当初のようにみんなで食事を囲み、会話等を楽しむことはできませんが、開催時は90代の方も参加されています。

8月は出前講座で認知症について学び、10月には春木公園でノルディックウォークを計画するなど、今後も、感染症予防対策を十分行つたうえで活動をしていきます。



コロナ前
みんなで健康体操をしていました



コロナ禍
人と人の距離をとりながら認知症について学んでいます



赤い羽根共同募金は地区社協活動を支援しています

学んでみよう! 別府っ子
サポートしてくれた
ボランティア

ありがとうございます
ごぞいませ
> < < > < >

7月に実施した「学んでみよう! 別府っ子」パラスポーツと障がいについて」の中で、子どもたちの学習支援や母安全に活動できるようにサポートしてくれた11名のボランティアの皆さん。

子どもたちからも「また参加したい」との声を頂き、好評のうちに終了しました。



11月行事予定

- * 福祉会館・あすなろ館 2022年2月分予約
- ・福祉会館受付開始 1日(月)～
- ・あすなろ館受付開始 2日(火)～

- * 法律相談 9日(火) 13:00～
- 社協会議室(社会福祉会館内): 要予約

- * ちょいボラ養成講座 16日(火) 13:30～
- 社協会議室(社会福祉会館内): 要申込

- * 認知症サポーター養成講座 16日(火) 14:45～
- 社協会議室(社会福祉会館内): 要申込

- * 終活相談 18日(木) 13:00～
- 社協会議室(社会福祉会館内): 要予約

※上記日程は諸事情により、変更することがありますので、ご参加の際には事前にお問い合わせください。



温たまさん&だいふくんの
健康の知恵袋



— その37 —

- (温) 11月14日は世界糖尿病デーだよ。糖尿病の予防・改善のために、生活習慣を1人でも多くの人に見直してもらおう目的で、世界各地で建物をブルーにライトアップするんだ。
- (だ) 僕、知ってる!!その日に別府タワーがブルーになるんだよね。でも、糖尿病の予防や改善に必要な運動って、特殊な運動じゃないの?
- (温) いつでもできるウォーキングが基本だよ。ただ最近、筋トレと一緒にやると、より効果的と言われてるんだ。だいふくんは、ノルディック・ウォークをやってるから、信号待ちなどで、筋トレをすれば一石二鳥だよ。今日は、その時にできる、もも上げ(図参考)を紹介するね。
- (だ) よし11月14日はノルディック・ウォークで、ライトアップされた別府タワーを見に行くぞ!!
- (温) ブルーライトがきれいにみえる夜道は、事故などにくれぐれも気を付けてね。



紅葉の美しい季節になりました♥色鮮やかな木々を見ると、目の保養になります!
コロナウイルスワクチン接種予約に右往左往し、接種後副反応にドキドキしたり、オリンピック・パラリンピックの選手たちの活躍に感動していた夏でした。
気づけば、あっという間に11月になりました。
この秋は、紅葉狩りや、梨・リンゴ・ブドウ狩り、美術館巡りなど、のんびり過ごし、心にとっぷりと栄養を与えることができましたらいいですね!! (あめ☆ぐみ)

べっぴし社協だより 第331号

編集&発行
社会福祉法人 別府市社会福祉協議会
別府市上田の湯町15番40号
TEL (0977) 26-6070 FAX (0977) 26-6620
<http://beppu-shakyo.or.jp/>

